

## 2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 4月 27日

所属・職名	会計ファイナンス研究科・教授	氏名	石黒 秀明
研究課題	インドネシア移転価格税制の現状と課題（2019年11月研究計画変更）		
研究キーワード	移転価格税制、BEPS（Base Erosion and Profit Shifting）、開発途上国	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>2019年11月インドネシアに出張し、同国国税総局ジョン国際租税局長と面談し、同国の移転価格税制、特に比較可能性分析(Comparability Analysis)と事前確認制度(Advanced Pricing Agreement)を中心に、その執行方針及び執行状況に関する情報・資料を入手することができた。順調に資料の整理が進んでおり、早期の成果発表を期したい。</p> <p>なお、研究計画変更前の課題（「最新税務訴訟事件判決の分析と判例理論の研究」）等についても論文執筆により研究成果を出すことができた。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p><b>【論文】</b></p> <p>①「モンゴルの国際課税関連税制の改正について－国際協力機構（JICA）プロジェクトを通じたわが国の国際支援活動の成果として－」、石黒秀明、単著、税務事例・第51巻12号 pp.50-60、2019年</p> <p>②「競馬予想ソフトを用いて稼得した馬券払戻金の所得区分について－損失年度に馬券購入者の「独自のノウハウ」の保有・行使を認め得るか－」、石黒秀明、単著、税理・第63巻第4号 pp.173-185、2020年</p> <p><b>【発表】</b></p> <p>① について：アコード租税総合研究所第16回国際課税検討委員会、2019年7月、東京</p> <p>② について：第88回MJS租税判例研究会、2020年2月、東京</p> <p>3. 主な経費</p> <p>インドネシア国税総局・国際租税局長との面談・資料収集のため同国に出張した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際協力機構（JICA）技術協力プロジェクト専門家</li> <li>・日本税務会計学会（東京税理士会）・国際部門委員</li> </ul> <p style="text-align: right;">（本文は1ページ以内にまとめること）</p>			